



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



2021年5月22日 発行 第8号

ワシントン日本語学校
校長 神戸 昭夫

[ワシントン日本語学校事務局]
HOT LINE (301)962-7415
TEL (301)962-7410
FAX (301)962-7411

5月15日 子どもたちと先生方の頑張っている様子です

<小2 (国語)> 漢字ドリルの使い方についての説明。「ゆっくりきれいに書いていきます。できているかみんな確認します。さらに、ノートに練習します。2年生は漢字を160字もやるんですよ。毎日コツコツ頑張りましたよ。」「この漢字『親』を見たことがありますか。これは『おや』と読みます。この字には1年生で勉強した4つが入っています。」みんなが答えます。『立』『見る』『目』『木』。「今日は、同じ部分の漢字を見つけて仲間分けをしましょう。この4つの漢字(「木」「田」「日」「口」)を持つ漢字を見つけてもらいます。<(^)o(^)>小学校では1年生80字、2年生160字、3年生200字、4年生200字、5年生185字、6年生181字の合計1006字。中学校では学年ごとの数は決まっておらず1130字、義務教育の中で合計2130字。多いなあ。がんばって!ちなみに、英語の単語は小学校で600~700語、中学校で1600~1800語程度。漢字の方が少ない?

<中3 (社会)> 「レジスタンスとは、(顔写真を見て)抵抗した人たちの名前がわかりますか。教科書の188ページから189ページを見てください。3分でやってみてください。」「これが答えになります。ドゴール、オードリー・ヘップバーン、杉浦千畝、アンネフランク、チャップリン、オスカー・シンドラー。」「資料集191ページ。日本に行きます。国や地域はどこでしょう、どんなちがいがあったか書いてみてください。3分で。」<(^)o(^)>中学校の社会の教科書と資料集は、写真、グラフ、表や地図でいっぱいでした。まさに「資料活用能力」。資料を集め、読み取り、分析、批判したり、また、自分で資料を作成したりする力。とかく覚えることが多いと思われがちですが。INPUTだけでなくOUTPUTが大事ですね。

<高 (数学)> 「答えが1と3になるように2次方程式を作りましょう。」「ここで、自分が来るとは思わなかった。」先生に指名された生徒の正直な反応です。もし、私が指名されたら同じことを言ったと思います。 $(X-1)(X-3)=0$ 、 $X^2-4X+3=0$ 、 $X=1$ 、 $X=3$ 。他にも作れますね。 -4 は $-(1+3)$ 、 3 は 1×3 。和が4、積が3 ($\alpha + \beta = 4$ 、 $\alpha \beta = 3$) これはグラフでも書けないかな?」<(^)o(^)>答えではなく、問題を作る問題。だから答えは一つではない。なるほど、すごい。

<小4 (国語)> 本文を読みましょう。『顔つき』ってどういうこと?」「顔にあらわれている様子、表情」「視線は?」「見つめている目の方向」「皆さんの目はどこを向いていますか。」「上手に読めましたね、『目的に応じて』、難しい言葉が出てきました。」「目当てに答える、付け加えてください、難しい言葉を知ってるね。よかった、たくさん手が挙がった。よく調べたね、とっても上手だね。」<(^)o(^)>子どもたちを認め、励ます言葉を聞いていると、自分のことではないのにとってもうれしくなってきます。

<小5（算数）>授業の後半におじゃましました。最後のまとめをやっていました。「工夫して計算しましょう。工夫に気づくと・・・。」「 $0.5 \times 0.7 = 0.35$ 。 $0.8 \times 0.04 = 0.032$ 。小数点の位置が要注意です。」「 $\triangle \times 1.6$ （？< か >？） $\triangle \times 0.4$ は。算数博士になれるかな？」「おー素晴らしい」。<(^)o(^)>最後に質問コーナー「運動会はやるんですか？」と聞かれました。楽しみにしているんですね。開催の方向で準備は進めています！

<小3（国語）>算数の前の国語におじゃましました。「今まで習った感じで、色を表す漢字は全部で8つあります。」「緑、金、赤、茶、白、黒、黄」「あと一つはなんだと思う？」「銀、おいしい、習ってない。先週習ったのは鉄だよ。そう、青です。」この後は、算数の勉強。「4桁の数を含む引き算の筆算に挑戦せよ（説明付）（理解せよではないよ）」の指令に挑戦です。<(^)o(^)> 漢字というと「漢字書き取り」を連想してしまいがちですが、視点を変えてみると楽しいですね。

<小6（算数）>「1dℓで板を $\frac{3}{5}$ m²ぬれるペンキがあります。このペンキ2dℓでは板を何m²ぬれますか。さっきやったけど、求められているのはどんな文字に置き換えられますか。」「Xです」「Xに置き換えて考えましょう」「どんな式を書けばいいでしょう。分かった人はアンミュートにして答えていいよ」「英語と日本語と分数の言い方が違うね」と発言した子がいました。<(^)o(^)>そうですね。 $\frac{3}{5}$ は、日本語では「5分の3」と5からだけど、英語では3からですね。「いくつに分けたいくつ分」。考え方の順番が違うんですね。

<中3（数学）> $\sqrt{18} = \sqrt{9 \times 2}$ 。「 $\sqrt{\quad}$ の中を簡単な数で表すとは。整数、できるだけ小さい整数で表すこと。」「できなかったとしてもできるだけ小さい数。やってはいけないのは小数で表すこと」「問題4を見てみましょう。大人になって使うことは少ないけど、今は中学生なので使えるようにしましょう。」<(^)o(^)>詳細を打ちたかったのですが、 $\sqrt{\quad}$ の中への文字の入れ方がわからなくて。ごめんなさい。難しいことをがんばって勉強しているんですね。

<高（小論文）>「小論文に入ります。名前を呼ぶので声を聞かせてください。」一人ひとりの返事がしっかり聞こえます。「全員いますね。」こんなペーパーが画面に写し出されました。「出典・引用『今週で起こった社会的ニュースを見つける』（新聞、インターネット、本、雑誌他）。アメリカ、日本、世界、範囲は自由。どこで、だれが、何がおきた」。一人ひとり、ペーパーを示して意見を述べます。<(^)o(^)>何に関心を持ったか、どんな意見を持ったか、意見を交換する。Input と output ですね。

<(^)o(^)>のマークについて

1日にすべての授業を参観させていただきたいのですが、なかなか難しいことです。教室に入ると、なかなか出て来られない。今に始まったことではありませんが、これから授業がどう展開していくのか、子どもたちの考えがどう変わっていくのか、どんな頑張りをを見せてくれるのか気になります。。

だから、現職中も、校舎1階の校長室を出ると、まず1階の1年生の教室から順番に3階の6年生の教室までと一応ルートは決まっていますが、1年1組で1時間を使ってしまうこともしばしば。時には、逆ルートの3階6年1組からを選ぶこともありました。

今日は、<(^)o(^)>で、気がついたことを書かせていただきました。個人的な感想ですのでお許しください。